



秋山みつあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

狩猟免許試験を安房地域で実施

県の捕獲事業再開を要望

◆館山市特集◆ 12月県議会一般質問

一昨年の県議選で館山市から初当選した一期目の秋山光章(あきやま・みつあき)県議は、十二月県議会でも早くも四回目の本会議場で一般質問に登壇し、活発な議会活動を展開しました。秋山県議は、館山市など房総半島地域で有害鳥獣が増え続け、農作物被害が深刻化している実情を訴えました。これに対し、県は、新たな捕獲員を確保するため、狩猟免許試験を初めて安房地域で行ったほか、市町村への補助金を増額していることを明らかにしました。また、秋山県議は旧安房南高校の跡地利用について積極的な提言をし、館山市と早期に協議するよう求めました。「ゆめ半島千葉国体」の質疑と合わせ、1、2面で特集します。



有害鳥獣駆除などで質問する秋山県議＝本会議場で

有害鳥獣対策は喫緊の課題

秋山議員 近年、農山村地域では、野生鳥獣の生息数の増加により、農作物への被害が深刻化しており、とりわけ県中南部地域では、有害鳥獣対策が喫緊の課題となっています。

私は、昨年六月議会でもイノシシについて質問させていただき、くくり罠の穴の大きさを緩和するとの前向きな答弁をいただきましたが、イノシシはどんどん増え続けています。そこで、イノシシ管理事業補助金の拡充を図るべきと考えるが、どうか。

環境生活部長 イノシシによる農作物被害が深刻な状況にあることから、市町村が行う有害鳥獣捕獲事業に対し、補助金を交付し支援しているところでありますが、本年度予算は前年度に比べて六割以上増額するなど、その充実に努めています。

国も本年二月に施行された鳥獣被害防止特別措置法により、市町村の捕獲事業に対する特別地方交付税の交付率を50%から80%へ引き上げるなど、財政支援の拡充が図られたところです。県としては、市町村が行う捕獲事業の一層の推進が

アカゲザルに大型檻設置

昨年度128頭を捕獲

秋山議員 房総半島に生息するアカゲザル捕獲の今後の見通しはどうか。

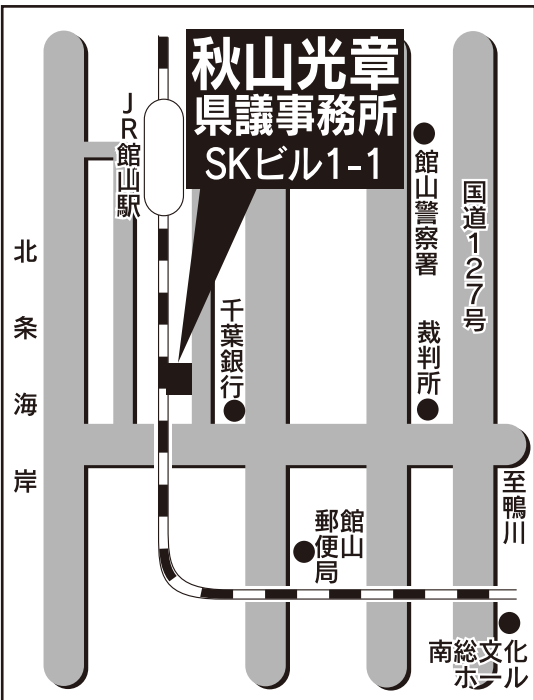
環境生活部長 アカゲザルは、海外から持ち込まれたサルで、館山市や南房総市など房総半島の南部に約六百頭が生息しています。また、房総半島固有のニホンザルとの交雑や農作物の被害が発生していることから、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されています。このため、県では平成十九年三月に「アカゲザル防除実施計画」を策定し、電波発信機の装着による行動域の把握や大型檻の設置などにより、捕獲に努めてきたところであり、平成十八年度の捕獲数は二十四頭でしたが、平成十九年度には百二十八頭と大幅に増やすことができました。本年度は、大型檻をさらに増設するとともに、地域と一体となり捕獲を推進するため設置した「アカゲザル

要望 イノシシ対策として農家が独自の撃退員を作ったり、大変な努力をして自らの農地を守っています。アカゲザルも檻だけで全滅できるか、分かりません。サル・シカの県による捕獲事業は、誤射事件以来、現在中止されていますが、県による捕獲事業を再開するよう要望します。

秋山みつあき・PROFILE

- | ◆略歴◆ | |
|----------|----------------|
| ●昭和21年9月 | 館山市生まれ |
| ●昭和63年4月 | 館山市立第三中学校PTA会長 |
| ●平成3年5月 | 館山市議会議員初当選(4期) |
| ●平成15年5月 | 館山市議会議長 |
| ●平成19年4月 | 県議会議員初当選 |

- | ◆現職◆ | |
|--------|--|
| ●県議会 | 観光立県推進議員連盟/建設問題研究議員連盟/議会ブラジル友好議員連盟会員 |
| ●千葉県 | 農政審議会委員 |
| ●自民党県連 | 会計監査/組織委員会委員/スポーツ振興議員連盟委員/医療問題議員研究会委員/介護問題対策議員連盟 |



県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

秋山みつあき県議事務所

〒294-0045 館山市北条2570-11 SKビル101
TEL.0470-23-5252
FAX.0470-23-5251

「2月16日午前11時よりチバテレビにて秋山みつあきの県議会予算質疑の模様を放映されますので、ご覧頂きますよう宜しくお願い致します」

■館山市特集 12月県議会一般質問

県政に一直線 秋山みつあき 県議

ゆめ半島千葉国体
会場地市町への財政支援を要請



自席から再質問と要望をする秋山県議

旧安房南高の跡地利用を提言

文化財の木造校舎は保存を

秋山議員 県立旧安房南高校の今後の恒久的な利活用は未定であると聞いています。同地区は、館山市の中心部に位置し、交通アクセスにも優れ、拠点となる地域です。校舎や体育館など使用可能な建物を活用する中で、分散している国・県・市の施設を集約するなど、住民の利便性の観点から、跡地の利活用について、県はどのように考えているのか。

総務部長 旧安房南高校は、現在、安房高校の校舎防音工事に伴い、仮校舎として使用しているところであり、今後の利活用については、これから検討を始めることとしています。

県としては、地元館山市のまちづくりの考え方などを伺いながら、県の厳しい財政状況も踏まえ、さまざまな観点から当該施設の最適な利活用方を検討してまいりたいと考えています。

要望 旧安房南高校の跡地には、昭和五年に建築され、平成七年三月に県の文化財に指定された木造校舎があります。美しく、おもむきのある校舎は、卒業生はもとより、地元市民からも親しまれています。跡地の利活用に当たっては、この貴重な県民の財産である木造校舎を有効に活用し、

後世に残していけるよう要望します。

国体で県のイメージアップを

秋山議員 平成二十二年の「ゆめ半島千葉国体」は、三十七年ぶりに千葉県で開かれる国体であり、県の威信をかけ、全庁を挙げて取り組んでいただきたい。国体・全国障害者スポーツ大会を中心とした他部局との連携は、どのように考えているのか。

国体・全国障害者スポーツ大会局長 国体の開催は、施設の整備や宿泊・衛生、交通・輸送、警備・消防、観光への取り組みなど多岐にわたることから、副知事を議長とした庁内連絡会議を設け、各部局の連携体制を整えるなど、全庁的に取り組んでいるところです。今後とも、連携を密にし、準備に万全を期してまいります。

秋山議員 千葉県開催をプラスイメージでアピールできる取り組みとして、どのように検討しているのか。

堂本知事 何が大事かというと、やはりPRだが、イメージキャラクターのチーバくんは、今のところ成功しています。選手をはじめ、多くの方々が来県する国体で、千葉県のプラスイメージを作るには、千葉の魅力在全国にどうアピールしていくかです。千葉県の特徴は多様であり、それぞれ地域の雰囲気や違うところがある魅力だろと思うます。

このため、関係者が一堂に会する開会式では、豊かな自然や伝統文化・歴史など、千葉の魅力年全国にアピールできるような式典を目指して、関係者による専門委員会を検討を進めています。

また、全国から訪れる関係者を、県民がさまざまな形で心温まるおもてなしで迎え、「千葉にきてよかった」と思ってもらうことも重要だと考えています。

館山運動公園の整備内容



金丸市長と堂本知事を訪ね観光振興を語る秋山県議

秋山議員 会場地市町に對し、具体的にどのような支援策を考えているのか。

国体・全国障害者スポーツ大会局長 県としては、大会の円滑な運営と会場地市町の財政負担の軽減を図るため、すでに実施している施設整備にかかる助成のほか、(1)会場装飾、仮施設など各競技の運営に要する費用(2)競技に使用する用具の整備費用について、先催県の状況を勘案しながら助成する方向で、現在検討を進めております。

秋山議員 館山運動公園野球場の整備内容はどうか。

国体・全国障害者スポーツ大会局長 館山運動公園野球場の整備では、中央競技団体の会場視察の際、スコアボードの改修やバックネットへのラバーの設置、国旗掲揚ポール増設等の指摘を受けました。県では、会場地の館山市や競技団体と整備内容について協議を行い、昨年度、バックネットのラバーの設置工事を実施しました。

今後、グラウンドの整備、バックネットの張替え、スコアボード、フェンスの改修などを予定しており、今年度そのための実施設計を行うこととしています。

今後、館山市や競技団体と協議し、円滑な競技運営ができるよう整備に万全を期してまいります。

要望 国体の会場地市町においては、財政状況が非常に厳しい中での開催であり、大きな財政負担を伴います。ぜひ、充実した助成制度にしたいという要望します。